

あかるいまち 21

No.1694 2024年11月19日
組合員活動推進課 082-532-1264

	11月	2024年度
組合員ふやし	66人	848人
出資金ふやし	802万円	8790万円
純増	△154万円	△737万円

組合員加入介護事業部 No1 を目指しての取り組み

広島中央保健生協居宅介護支援事業所（中央居宅） 松井拓也

中央居宅では、昨年度も年間の加入目標は達成しました。しかし年度末に職員家族の駆け込み加入で何とか達成した目標であり、本来の目標である、利用者の加入には苦戦をしていました。この数年 60%台で推移している組合員利用率も当然上がりません。

そこで今年度、①コンスタントに利用者に声掛けを行い、早期に目標を達成する。②組合員利用率 70%を目指す。という方針を打ち立てました。その甲斐あって、4.5月で計6件の新規加入とロケットスタートを切ることができました。6～10月は職員の退職・異動やそれに伴う業務負担増、順調なスタートにホッとしたところもあるのか、わずかに1件のみでした。振り返ってみると、私自身も事業所運営にベクトルが傾き、いつしか組織拡大への声掛けや意識も低くなっていったように思います。そうこうしている間に訪問看護ステーションコープはつかいちに追い抜かれ、五日市の看多機・居宅にも肉薄されてしまいました。

中央居宅は他介護事業所の収益を下支えしている自負はありますが、介護報酬上訪問看護や定期巡回のように見栄えする収益を生み出すことができません。そこで、“収益でトップを狙えないなら別のことで、組合員加入件数で介護事業部のトップを目指し、中央居宅の存在感を示そう！”と目標を再設定。事業所内で共有し、“打倒はつかいち！”を合言葉に一方的にライバル心を燃やし、再度エンジンをかけなおしました。その結果、11月単月で6件の加入（11/12時点）！年間目標（10件）も達成し、再びトップを奪還できました。



ホワイトボードに加入増資それぞれの目標と到達を記載し、皆に見えるようにしています

はつかいち等の頑張りに中央居宅も刺激されましたし、職員もよく頑張ってくれています。



職員からは組合員増やしに対し、前向きな発信も目立つようになりました。やはり適切な目標設定と切磋琢磨できるライバル(今回は一方的にですが)の存在が事業所の意識や一体感を高め、結果につながったのではないかと感じています。

今後の課題はこの熱意を一過性のもので終わらせることなく継続していくこと。

これからも組合員(=生協・中央居宅を応援して下さる方)増やしに取り組み、その期待に応えられるようケアマネジメントの質を高めていきたいと思えます。



～生協強化月間、あと2週間です～

皆様のご奮闘に敬意を表します。各支部・各事業所の月間目標に向け、頑張りましょう。組合員活動推進課でも気合を入れるべく、課内に横断幕を掲げて意思統一をしました。

あと2週間、全力で駆け抜けます!!!

